

48<sup>th</sup>

令和3年度3月号 [3月14日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



# 岸川中だより

川口市立岸川中学校  
川口市安行領根岸374番地の1  
TEL268-4506 FAX268-4761  
特別支援学級 TEL268-7110  
さわやか相談室TEL268-4510  
<https://kishikawa.official.jp>

## 大きく 大きく もっと大きく 舞台は 世界

校長 松田 隆幸

15日発行の学校だより。明日、3月15日は卒業式。47期の127名が巣立っていきます。私の伝えたい想いは一つ。卒業生たちが、明るく、元気に、たくましく、世界を舞台に活躍してくれることです。卒業式前の校長講話や式辞に用意したことも同じ想い。2025年(の崖)問題や2030年問題に最前列で直面する若者達に、願う気持ちは複雑です。

ICT問題で世界と比べて大きな損失を出してしまうとされる2025年。今ある仕事の半分近くが他の仕事に取って代わる2030年。いずれも、人口減が引き金となっています。答のない世の中に自分のカーフで送り込まれる卒業生達は、不安になることでしょう。だが、考え方を換えれば、解のない社会だからこそ、大きなチャンスがどこに転がっていて、いつ巡り会えるか分からないという捉え方もできます。これまでにない大チャンスであると伝えたい。卒業生を前にすると、そんな想いが大きくなるばかりでした。大きく、もっと大きく、世の中を、社会を変えることができるチャンス。このチャンスをものにするのも、見逃すのも、素直な心があるかどうかで決まることでしょう。

縮小する国内のマーケット。人口は減り続け、1億2千万人はやがて半分の6000万人になるであろうという試算もあるようです。だから、なんだ、人がいなければ代わりを生み出せばよい。人工知能のAIもその手段。国外の方々と手を組んで解決するのも手段の一つかもしれない。だからなのか、小学校から、プログラミング教育や英語の授業が既に始まっている。世界を相手に、全世界の平和のために、世界の弱者のために、環境問題、食糧問題等あらゆる難題に挑み、解決し、世界に貢献できる大人になってもらいたい。そのためにも、学び続けること、人生を学びと共にする事を願うばかりです。物事を小さく捉えないし、考えない。常に世界を見つめて、地球規模の考えを持ってほしい。恐れず、怯まず、諦めず、大きいことに挑む大人となってほしい。世界には学ぶ場所がいくらでもある。今からでも遅くはない。いつ始めても遅くない。学びを共にする希望に満ちた人生を送ることを願うばかりです。懐を広く、深く持ち、明るく、元気に、たくましく突き進む岸川中生であってほしい。私も負けずに、まだまだ大きくなります。いやいや、これ以上大きくなるのはアカンか？

令和5年岸川中学校は創立50周年  
2023 Kishikawa.J.H.S 50<sup>th</sup> ANNIVERSARY